

平成 2 9 年

第 3 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 9 年 8 月 1 8 日

平成29年第3回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇大曲仙北中学校総合体育大会について

6月16日から18日にかけて平成29年度大曲仙北中学校総合体育大会が開催され、市内中学生が大活躍をいたしました。

軟式野球競技では、神代中学校が第2地区の決勝戦で大曲南中学校を7対1で破り、2年連続優勝と5度目の全県大会出場となりました。

この他に、県大会出場権を得た団体種目の成績は、角館中学校男子柔道部の優勝、神代中学校男子卓球部の準優勝、角館中学校女子卓球部の第3位などでした。

また、個人種目で県大会出場権を獲得した選手も多数おり、全体として延べ117人の生徒が全県中学校総合体育大会等に出場しました。

◇全県中学校総合体育大会等の主な結果について

第66回全県中学校総合体育大会が、7月15日から17日まで開催されました。

横手体育館で行われた柔道男子団体で、角館中学校柔道部が第3位となり、8月3日から山形県体育館で開催された東北大会へ出場しました。

個人の部では、柔道女子個人57kg級で、角館中学校3年の松本唯（ゆい）さんが見事優勝し、8月22日から福岡国際センターで開催される全国大会への出場権を獲得しました。また、東北大会でも見事準優勝に輝きました。その他にも、角館中学校からは、柔道男子個人55kg級で3年児玉文汰（ぶんた）さん、柔道男子個人66kg級で2年鎌田匠人（しょうと）さん、柔道男子個人90kg級で3年黒澤翔（しょう）さん、陸上競技1年男子1500mで高貝拳汰（けんた）さん、生保内中学校からは、陸上競技1年男

子 1 5 0 0 m で石塚蒼大（そうた）さん、陸上競技 1 年男子 1 0 0 m で鈴木勇太郎（ゆうたろう）さん、剣道女子個人で 2 年畠山葉月（はづき）さん、神代中学校からは、柔道男子個人 5 0 k g 級で 3 年細川大和（やまと）さん、西明寺中学校からは、陸上競技 1 年女子 1 5 0 0 m で柏谷星來（せら）さんが、東北大会へ出場しました。

また、7 月 2 5 日から 2 9 日まで開催された全県少年野球大会では、神代中学校野球部が出場し、1 回戦で中仙中学校と対戦し、延長 9 回、1 対 0 で惜敗しました。しかし、両エースの息詰まる投手戦は、観客を魅了し、神代中学校野球部の実力を十分に発揮する素晴らしい試合となりました。

◇県展入選について

第 5 9 回秋田県美術展覧会（県展＝秋田魁新報社、県、県教委、秋田市主催）が、6 月 2 9 日から 7 月 5 日までアトリオン、県立美術館県民ギャラリーで開催されました。

洋画部門で角館中学校 3 年藤原蓮（れん）さんの作品「宇宙の時の流れ」が、デザイン部門では角館中学校 3 年後藤杏奈（あんな）さんの作品「描きたいもの」と 3 年小松菜乙（なお）さんの作品「ホクロ」が見事入選を果たしております。

◇市内小学生の活躍について

7 月 8 日から 9 日に神岡で行われた第 5 9 回大曲仙北スポーツ少年団選抜野球大会で、角館マックスが優勝、西木ジュニアベースボールクラブ（西明寺小・桧木内小 合同チーム）が準優勝に輝きました。両チームは 8 月 7 日から 1 0 日に開催されたナイスカップ第 4 8 回秋田県小学校クラブ野球大会兼第 4 0 回秋田県スポーツ少年団大会に出場し、西木ジュニアベースボールクラブがベスト 8、角館マックスは決勝で向能代クラブに 1 8 対 0 で勝利し、5 年ぶり 3 度目の全県優勝を飾りました。

西木ジュニアベースボールクラブは、7 月 2 9 日から 3 0 日に秋田

スカイドームで開催された第9回秋田県小学校野球大会で、決勝戦で花館小クラブに16対2で勝利し、見事全県優勝の栄冠を勝ち取り、10月7日から9日に函館市で開催される北日本大会への出場権を獲得しました。

さらに、第34回読売全県さわやか選抜野球大会に田沢湖イーグルス（生保内小）が出場し、ベスト4に進出する活躍をしました。

また、7月1日から9日に開催された第30回東北電力旗ミニバスケットボール大会大曲仙北予選会では、男子の部で角館ブラザーズが準優勝、女子の部で西明寺ミニバスケットボールクラブが第3位に輝き、両チームは8月1日から2日にかけて開催された東北電力旗第30回東北ミニバスケットボール大会秋田県大会へ出場しました。ともに1回戦突破はなりませんでしたでしたが、これまでの練習の成果を十分に発揮することができました。

個人では、平成29年度秋田県卓球選手権大会兼全日本卓球選手権大会秋田県予選会で桧木内小学校2年斎藤寛太（かんだ）さんがバンビの部で第2位、同じく桧木内小学校4年阿部大和（やまと）さんがカブの部で第6位となり、7月28日から30日に神戸市総合運動公園内体育館で開催された全農杯平成29年度全日本卓球選手権大会に出場しました。ともに1勝1敗で予選通過はなりませんでしたでしたが、全国大会で1勝を挙げ、大きな自信を得ることができました。

また、平成29年度秋田県少年少女陸上競技大会兼第33回全国小学生陸上競技交流大会秋田県予選会で、桧木内小学校高橋空夢（あむ）さんが5年男子100mで、13秒97の好タイムで第2位に、同じく桧木内小学校武藤大翔（はると）さんが、6年男子100mで13秒29のタイムで第3位に輝きました。2人は、8月4日から6日にかけて、函館市で開催された東日本大会へ出場し、5年男子100mで高橋空夢（あむ）さんが決勝に進出し、県予選のタイムを上回る13秒74のタイムで見事第4位に輝きました。

この他にも、様々な大会、様々な種目において、市内の小学生が

日頃の練習の成果を発揮し、大活躍しました。

◇仙北市・富士河口湖町子ども交流事業について

クニマスの再発見を契機に、平成24年度から始まった交流事業は6回目を迎え、今年は7月26日から28日までの3日間、市内各中学校の代表6人が山梨県富士河口湖町を訪問しました。

初日は、富士河口湖町役場を訪れ、渡邊喜久男(きくお)町長を表敬訪問し、その後、昨年開館したクニマス展示館を訪れ、生きたクニマスを見学したほか、田沢湖での歴史、西湖で発見された経緯、クニマスの保全と人工増殖の取り組みなどについて学習しました。

参加した生徒は、在籍校でこの貴重な体験を発表し、交流を通して考えたことを自校の生徒に伝えながら、クニマスや環境保全、仙北市の将来について考えていきます。これらの活動を通して、市内生徒の環境学習の深化と、地域貢献意欲の育成につなげていきたいと考えております。

◇子どもサミットについて

8月7日に、市内12校の児童会・生徒会代表者による第11回子どもサミット～S e m b o k u C i t y ジュニア未来会議～を開催いたしました。

サミットでは、いじめの撲滅などを目指す「仙北っ子の約束」を浸透させるための各校の取り組み状況についての情報交換、ねりんピックや2018FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会でのおもてなし等について、活発な意見交換がなされました。

今後も、ふるさと仙北市や自分たちの学校生活をよりよいものにしていくために、子どもたち自身による自主的、主体的な取り組みを支援して参ります。

【生涯学習課】

◇成人式について

8月15日、仙北市民会館において、仙北市成人式を開催しました。今年度の対象者は230人で、うち172人（74.78%）が参加し、懐かしい友との再会を喜びながら、和やかな雰囲気の中にも、厳粛に式典が行われました。

仙北市成人式では、新成人自らが企画し進行を執り行っており、式典終了後に行われた新成人によるアトラクションでは、「～20年分のありがとう～」と題して、普段なかなか素直に伝えられない感謝の気持ちと、これからも感謝の気持ちを忘れずに人生を歩んで行こうとメッセージを歌に込めて合唱が披露されました。

また、今年新たな試みとして地方創生・総合戦略室の協力で、市の定住促進に関連した事業を紹介するブースを設置しました。人口減少の著しい本市ではありますが、この機会に市の取り組みを紹介し、一人でも多くの新成人が、仙北市に定住し、地域活性化の担い手の一員となってくれることを期待しております。

【田沢湖公民館】

◇「生保内節盆踊り大会」について

8月20日、午後7時から田沢湖庁舎駐車場を会場に「第47回生保内節盆踊り大会」を開催いたします。

盆踊りの上手な方や仮装で盛り上げた方には、市内協賛企業並びに実行委員会から多数の豪華景品を進呈いたします。

盆踊りの開会前や合間には、地元からの多彩なアトラクションを織り交ぜ、また会場には地元企業等による出店コーナーもありますので、ぜひご来場いただき、会場の皆様とともに過ぎゆく夏の夜をお楽しみいただきたいと思います。

【西木公民館】

◇秋田県子ども・子育て支援知事表彰について

西木公民館を拠点に活動している読み聞かせボランティア「ひまわりの会」が平成29年度秋田県子ども・子育て支援知事表彰を受賞しました。

平成12年結成の同会は、高齢者施設や親子が集まるイベントなどに積極的に赴き、読み聞かせや大型紙芝居をとおして世代間交流を図るとともに、地域で子育てに取り組む機運を醸成しているとしてこの度の受賞となったもので、今回の表彰を機に、更なる活躍を期待したいと思います。

【田沢湖図書館】

◇「超大型絵本おまえうまそうだなを使ったおはなし会」について

田沢湖図書館では、6月18日の「父の日」に市民会館を会場に、子ども向けイベントを開催しました。秋田県生涯学習課主催、ポプラ社共催の事業であり田沢湖図書館が招致したものです。

当日は、大型絵本「おまえうまそうだな」のおはなし会に続き、着ぐるみとの撮影会、絵本作家塚本やすし先生の読み聞かせ、ワークショップと盛りだくさんの内容に、およそ100人の親子連れ等が楽しい「父の日」を過ごすことができました。

これからも、読書普及はもちろん、参加型イベントの開催に更に力を入れて参ります。

◇秋田県立博物館出張展示「オーストラリアの風変わりな動物たち」について

7月15日から8月13日までの会期で、秋田県立博物館の出張展示「オーストラリアの風変わりな動物たち」を開催しました。

昨年に続く特別展示であり、今年は、コアラやカモノハシなどおなじみの動物や、ニホンモモンガなど珍しい小動物およそ10体のはく製を見ることができました。

7月29日には、親子向けの特別教室「コアラとカモノハシのステンシルトートバッグ作り」を開催しました。10人の参加者は、夏休みの作品づくりを兼ねて楽しみながら、ステンシルの色を重ねて、出来栄えに大いに満足していました。

◇「Summer Night Concert」について

8月19日午後6時から、田沢湖図書館1階ホールにおいて、ロビーコンサートを開催します。

魅惑の映画音楽と題し、懐かしくなじみ深い外国映画から様々なテーマ音楽をピアノ演奏と歌でお届けします。多くの皆様に、ご来場いただきたいと思います。

【学習資料館・イベント交流館】

◇学習資料館・イベント交流館への寄附について

7月31日、新潮社記念文学館名誉館長である故高井有一先生夫人の中村輝子様より500万円をご寄附頂きました。

寄附金は、今年3月に中村様から寄贈されました「高井有一文庫」の周知と展示、閲覧、調査研究及び保存を目的に大切に活用させていただきます。

本定例会に、「高井有一文庫」の一部公開に向けて関連する補正予算を計上しておりますので、ご審議の程をよろしくお願いします。

◇イベント交流館企画展示について

4月8日から7月17日まで開催されました写真展「新潮社写真部のネガ庫から カメラがみた作家の素顔」は、2,850人の皆様からご来館いただき、好評のうちに終了することができました。

7月25日から11月26日までは「自由律俳句展」を開催します。自由律俳句は、従来の十七字の形式を破ったもので、この企画展では、著名な提唱者である河東碧梧桐（かわひがしへきごとう）や荻原井泉水（おぎわらせいせんすい）らが仙北市を訪れた足跡や、

明治から昭和の地元俳人の作品を紹介し、仙北市や周辺における自由律俳句の流れを資料約30点とともに展示した貴重な展示会となっています。多くの皆様にご覧いただきたいと思います。

【スポーツ振興課】

◇田沢湖マラソン開催について

9月17日、昨年の大会に引き続き、アテネ・北京オリンピック女子マラソンに2大会連続出場され、世界陸上でも活躍された土佐礼子さんをゲストランナーにお迎えし、第32回田沢湖マラソンが開催されます。

7月末のエントリー状況は、前年同期を600人程下回っていますが、前日エントリーを含め最終エントリーは5,000人を越えるものと期待しています。

昨年から行っているJTBスポーツステーションエントリーを引き続き行い、これまでの走るだけの参加型から観光を含めた滞在型を積極的に取り込み、国内参加のみならずインバウンド対応としての台湾からの受入も積極的に行っています。

協議を進めている台湾高雄国際マラソンとの連携については、今大会へ高雄市の関係者やランナーをお招きし、今後の市民交流に向けた取り組みを検討する予定となっています。

また、先月の豪雨により被害を受けた湖畔周回道路については、現在2箇所が片側交互通行となっています。被災箇所は、マラソン開催日までの復旧が見込めないため、春山から相内潟、相内潟から潟尻までの区間を、ランナー通過予定時間に合わせ、通行止め時間を延長する方向で仙北警察署と協議を行っています。

まずは、参加するランナーの安全を優先し、規制区間周辺の市民の皆様にご協力を仰ぐとともに、東北管内の旅行業者への周知を図って参ります。

◇タイ王国スポーツ庁主催セミナーについて

7月24日、25日の両日、タイのバンコクで開催された「タイ・日本スポーツ協力：2020東京オリンピックへの道」セミナーへホストタウン登録を行っている秋田県・大館市・美郷町・北九州市・龍ヶ崎市とともに、本市も出席して参りました。

タイスポーツ庁は、秋田県及び北九州市とスポーツ交流に関するMOU（基本合意書）の締結を予定していることから、今回、予定自治体を対象としたセミナーの開催となり、関係自治体の事前合宿誘致に向けたプレゼンテーションやワークショップが行われたものです。

今回の訪タイでは、タイバトミントン協会とのMOUを先行していた秋田県と美郷町、県バトミントン協会による事前合宿地としての基本合意が交わされており、本市もそれを目指しております。

なお、7月31日には、タイスポーツ庁長官ほかスポーツ監督団体19人が、合宿地の確認のため秋田県を公式訪問し、美郷町、仙北市を訪れています。

◇各種スポーツ大会について

8月18日から20日まで、国民体育大会東北ブロックの予選会を兼ねた第44回東北総合体育大会馬術競技が仙北市馬術場を会場に開催され、馬場馬術、障害飛越（ひえつ）の2競技が行われます。

8月30日から9月3日には、2017秋田国際合気道フェスティバル・第12回国際合気道競技大会が田沢湖スポーツセンターを会場に開催されます。富木合気道国際ネットワークに所属する団体により、国内では4年に一度開催される国際大会で、国内外から500人を超える参加者が集う予定となっています。9月2日には、小学生から大人まで、男女を問わず参加出来る修練者指導による体験会も開催されます。

9月24日には、第27回100キロチャレンジマラソン大会が開催されます。大会運営や今後の大会継続のあり方等検討の余地は

あるものの、引き続き秋田県や関係団体とともに積極的にサポートを行って参ります。

10月1日、男鹿市で開催される秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！に向けて、7月29日に小・中学生の選考会を実施し、仙北市選抜チームが結成されました。小学生、中学生、高校生、一般、壮年からなる9区間に、各年代の代表選手総勢18人が参加します。今後、数回のチーム練習を経て大会に臨む予定となっています。

【平福記念美術館】

◇「伊藤昇日本画展」について

6月6日から7月27日まで「伊藤昇日本画展」を開催いたしました。

6月6日のオープニングセレモニーには、伊藤昇氏のご遺族・長女の岡本多佳根さんにもご出席いただき、伊藤昇氏との思い出や作品に対する思いなどをお話していただきました。

期間中は、伊藤昇氏の地元、田沢地域の皆さんをはじめ、市内外から、1,158人の皆様にご来館いただき、百穂最後の弟子「伊藤昇の日本画の世界」をご堪能いただきました。

◇「没後40年 荒川青亭日本画展」について

今年は、郷土が生んだ日本画家・荒川青亭の没後40年の節目となることから「没後40年荒川青亭日本画展」を8月1日から9月24日まで開催しております。

青亭は、明治27年（1894年）、角館町に生まれ、地元秋田で活躍した画家で、故郷の風光明媚な山河湖沼を、詩情あふれる筆致で描く風景画を得意としていました。画家としての才能は、神社の大絵馬や祭りの人形作り、また絵付け春慶塗りなど、郷土の文化に多方面に発揮され、人々を魅了しております。絵画以外にも多趣味で、弓道や自由律俳句など枚挙にいとまがなく、角館の文化の中

心には必ず青亭が存在していました。また、青亭は秋田出身の画家たちとの「秋田美術社」創設、各種展覧会審査員、角館高校美術講師など、秋田の芸術普及活動にも積極的に関わっております。

この度の展覧会では、秋田の自然や芸術を愛した青亭の、魅力あふれる作品の数々を展示し、その画業を回顧するものであり、多くの皆様にご覧いただきたいと思います。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。